

情報リテラシー（第9回）

情報の収集・整理 2：メディアリテラシーを身につけよう

今日のねらい

- 情報メディア・表現メディア・伝達メディアの違いを説明できるようになる
- コミュニケーションの形態を理解し、整理できるようになる
- 情報の真偽を判断するための視点を身につける
- フェイクニュースをチェックリストで検討し、その根拠を言語化できるようになる

メディアリテラシーとは？

情報を読み解き、真偽を見抜く力

- 情報があふれる現代社会で必須のスキル
- 「正しい情報」と「間違った情報」を見分ける
- 情報に踊らされない判断力を身につける

 最近、「怪しいな」と思った情報はある？

メディアの3つの分類

情報を整理するために、メディアを3つに分けて考えよう！

👉 情報メディア・表現メディア・伝達メディア

メディアの分類

分類	内容	例
情報メディア	中身の情報そのもの	ニュース、広告、漫画
表現メディア	表現の形式や形態	文章、画像、動画、音声
伝達メディア	情報の届け方・媒体	紙、テレビ、SNS、Web

 ハンドアウトの表に、あなたの例を記入してみよう！

コミュニケーションの形態

分類軸	形態	説明	例
発信人数	1対1	一人が一人に伝える	LINE、メール
発信人数	1対多	一人が複数に伝える	ブログ、SNS投稿
発信人数	多対多	複数人が相互にやりとり	掲示板、グループチャット
タイミング	同期型	リアルタイムでやり取り	通話、ビデオ会議
タイミング	非同期型	時間差でやり取り	メール、掲示板

 あなたがよく使うコミュニケーション手段をハンドアウトに記入しよう！


フェイクニュースの見分け方

情報の真偽を判断する5つの視点

1. **出典・発信元**：発信者は信頼できるか？
2. **日付・時期**：古すぎたり未来の話では？
3. **表現・語調**：あおる・笑わせる表現があるか？
4. **内容の現実性**：実現可能？科学的？常識的？
5. **他の出典確認**：他のニュースで取り上げられているか？

虚構新聞チェック

記事：「A I 活用、年金受給年齢決める『高齢者関数』 有識者団体が試案」

 5つの視点でチェックしてみよう！

- 本当のニュース？フェイクニュース？
- どの視点が一番判断に役立った？

虚構新聞チェック：判断のポイント

チェックする際の着目点を確認しよう！

✕ 危険な情報の特徴

- 感情的な表現が多い
- 出典が不明確
- 「拡散希望」「緊急」などの煽り文句

✓ 信頼できる情報の特徴

- 具体的なデータや根拠がある
- 複数の信頼できる媒体で報じられている
- 冷静で客観的な表現

メディア構造を考える

同じ情報でも、メディアによって印象が変わる！

例：虚構新聞の記事

- 表現メディア：どんな文章表現？
- 伝達メディア：SNSと新聞、どちらが信じやすい？
- 情報メディア：目的は？（ニュース？娯楽？皮肉？）

🔍 メディアの「構造」を意識して情報を読み解こう！

メディアリテラシーの実践

日常で心がけること

- 情報を受け取る前に「立ち止まって考える」
 - 複数の情報源で確認する
 - 「これ本当？」と疑問を持つ習慣をつける
 - 疑問に思ったら調べる・聞く
- SNSで情報をシェアする前にも要チェック！

発展課題

今後の実践

- SNSで見つけた「怪しい情報」をチェックリストで判定
- 家族や友人と情報について話し合う
- ニュースを見るときは「5つの視点」を意識する

🌟 メディアリテラシーは日々の積み重ね！

まとめ・ふりかえり

- メディアリテラシーは現代社会の必須スキル
- 情報を「疑う」ことから始まる
- 5つの視点で情報をチェック
- 日常的な実践が大切

💡 補足: 虚構新聞はネタサイトですが、もし悪意を持って「本当のニュース」として拡散されたら？ そんな情報を見抜く力を身につける練習教材として使わせていただきました。